



第18回 国分寺市環境シンポジウム

国分寺の 湧水・池・野川・水循環 ～地下水の恩恵～

国分寺の地には、はるか昔から豊かな湧水があり、人々の暮らしを古くから支えてきました。豊かな水は、現在まで草木や動物、わたしたちにとって大切な環境をつくっています。

しかし、近年の都市化の進展などにより、畑や水田、雑木林等が減少しています。これにより雨水が地中に浸透できず、湧水も減少しています。

湧水を守り、今ある豊かな環境を未来に引き継いでいくため、私たちにできることを一緒に考えてみませんか。

講演内容

- 国分寺の地下水はどこから来るのか？
- 湧水の回復
- 姿見の池の再生
- 山地の森林，多摩川の扇状地（武蔵野台地）の役割 など

日時 **令和5年2月19日(日) 13:30(開場13:00)**

会場 **リオンホール(cocobunjiWEST 5階)**

会場及びオンライン配信にて実施します。
※会場のみ手話通訳あり

会場定員100人 参加費無料

事前申込制 参加をご希望の方は、氏名・連絡先（電話番号又はメールアドレス）・参加人数・参加方法（会場又はオンライン）を電話又はメールにより、**2月6日(月)17:00まで**に、まちづくり計画課（裏面問合せ先）へご連絡ください。

※応募者多数の場合は抽選とします。

※会場に空席がある場合は、当日でもご参加いただけます。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、開催方法などが急遽変更となる場合があります。最新の状況については市ホームページ(裏面右下二次元コード等)をご確認ください。

<主催：国分寺市環境ひろば・国分寺市>

水循環研究所所長 **飯田 輝男** さん



講演テーマ

『国分寺の湧水・池・野川・水循環』

～地下水の恩恵～

1944年東京都生まれ。東京都環境局勤務を経て、水循環研究所所長。専門分野は水環境、水循環、湧水と地下水に係る水環境行政。「山地から東京湾までの東京地方の水循環」をテーマにしています。

東京都環境局勤務時代に、平成2年度から国分寺の湧水保全に携わり、平成8年度からJR東日本八王子支社と、武蔵野線の引込線トンネルに湧出する地下水の姿見の池への導入について、協議を行いました。

現在は「アユの遡上とアンモニアの影響」の研究を行っています。

著書：「2020年水循環回復戦略：山紫水明の地を再び東京から全国へ」
「水循環における地下水・湧水の保全」

当日のプログラム(予定) **令和5年2月19日(日)**

13:30	開会	14:55	環境団体紹介
13:45	講演 飯田 輝男さん	15:10	質疑応答
14:45	休憩	15:25	閉会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ①体調がすぐれない方は、ご来場はお控えください。
- ②入場時のアルコール消毒・検温にご協力ください。
- ③マスクの着用をお願いいたします。
- ④大きな声での会話はお控えください。

問合せ先

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課
国分寺市本町4-1-9 本町クリスタルビル4階
TEL：042-314-9005（直通）
E-mail：machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp



シンポジウムのご案内は、国分寺市ホームページからご覧になれます。
(ページ番号：1027057)

(国分寺市ホームページ)